

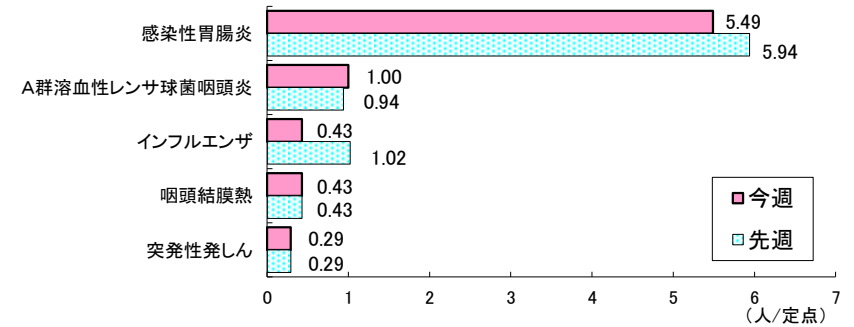


【第21週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. 感染性胃腸炎は、県全体で8%減少しています。保健所別では、大館、北秋田で増加、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で6%増加しています。保健所別では、大館、大仙、横手、湯沢で増加、秋田市で同規模、秋田中央、由利本荘で減少しています。
3. インフルエンザは、県全体で58%減少しています。保健所別では、秋田中央で増加、秋田市、大館、大仙、横手、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

＜五類定点対象疾患(週報)＞

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減			
RSウイルス感染症	0.34	0.20	↘	0.29	0.71	↗	2.00	0.25	↘					0.33	↗	0.50		↘												
インフルエンザ	1.02	0.43	↘	0.91	0.45	↘	3.71	1.43	↘								0.33	↗			0.43	0.14	↘	2.40	0.40	↘	0.80	0.60	↘	
咽頭結膜熱	0.43	0.43		0.43	0.43		0.25		↘	1.00	0.50	↘		0.33	↗		0.25	↗	1.50	1.00	↘	0.50	0.50				0.25	0.75	↗	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.94	1.00	↗	1.86	1.86			0.25	↗							2.50	1.75	↘	0.25		↘	0.25	0.75	↗	0.33	0.67	↗	1.75	2.25	↗
感染性胃腸炎	5.94	5.49	↘	9.14	8.29	↘	12.50	17.75	↗	2.50	3.50	↗	7.67	4.00	↘	2.25	1.50	↘	2.25	0.75	↘	2.75	1.75	↘	4.00	3.67	↘	6.25	4.25	↘
水痘	0.17	0.23	↗	0.14	0.71	↗	0.25		↘		0.50	↗	1.00		↘									0.67	↗	0.25		↘		
手足口病																														
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.29	0.29		0.29	0.71	↗					0.50	↗		0.33	↗	0.25	0.25		0.75		↘	0.25		↘	1.00	0.67	↘			
ヘルパンギーナ		0.03	↗																											
流行性耳下腺炎	0.14		↘	0.29		↘	0.25		↘												0.25		↘				0.25		↘	
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.29	0.29		0.67	0.67					*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	1.75	1.00	↘							4.00	5.00	↗				*	*					6.00	1.00	↘	3.00		↘	1.00	2.00	↗
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.75	0.75					4.00	6.00	↗							*	*							1.00		↘	1.00		↘	

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が北秋田保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のつつが虫病が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-20週		21週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	7807	41	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
三類	コレラ		2	
	細菌性赤痢		71	
	腸管出血性大腸菌感染症		366	
	腸チフス		18	
	バラチフス		9	
四類	E型肝炎	152		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	296		
	エキノкокクス症	3		
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	19		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
タニ媒介脳炎				
炭疽				

トピックス

<狂犬病は今なお恐ろしい感染症です！>

狂犬病予防法の施行により、1957年以降、日本国内での狂犬病の発生はゼロとなりました。しかし、世界を見るといまだに多くの地域で発生しており(図)、年間50,000人以上が亡くなっています。

■清浄地域・台湾での狂犬病確認

日本と同様に清浄国・地域とされていた台湾で、2013年に狂犬病ウイルスに感染した野生のイタチアナグマが確認されました。“狂犬病の発生はない”とされている国・地域であっても、ウイルスが野生動物の間で維持されたり、発生地域からの動物の輸入により国内にウイルスが持ち込まれたりする危険性があります。

■日本国内での狂犬病の発生を防ぐために

1. ウイルスを持ち込まない

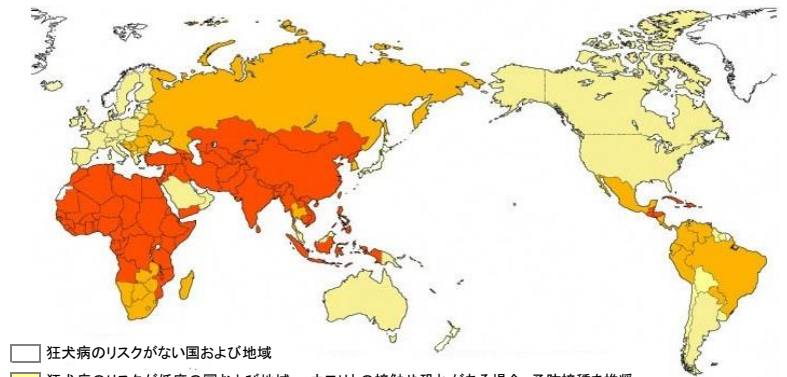
国内を原因とする狂犬病の発生は無くなりましたが、海外で感染した人が帰国後に発症する輸入症例は、まれではありますが近年でも報告されています。医療の進んだ現代においても、残念ながら発症後の治療法は見つかっていません。海外ではむやみに動物と接触しないようにしましょう。

※海外では、犬以外にも猫やアライグマ、タヌキ、コウモリなど、複数の動物が狂犬病を媒介しています。もし海外で哺乳動物に咬まれたり引っかかれたりした場合は、直ちに石けんと流水で傷口を洗った後、医療機関を受診してください。早期の複数回のワクチン接種により、発症を防ぐことが可能です。

2. 定着させない

万が一国内にウイルスが侵入したとしても、定着させないことが重要です。日本では法律により、飼い犬の登録と年1回の予防注射の実施が義務づけられています。犬を飼育している方は、「**狂犬病予防注射月間**」の4月～6月に予防注射を受けさせてください。

類型	疾患名	1週-20週		21週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	62		1
	デング熱	46		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	36		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	2		
	マラリア	15		
五類	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽	1		
	レジオネラ症	428	1	
	レプトスピラ症			
	ロッキー山紅斑熱			
	アメーバ赤痢	305		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	66	1	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	603	3		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	4			
急性脳炎	316	3		
クリプトスポリジウム症	7			
クロイツフェルト・ヤコブ病	77			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	322	4		
後天性免疫不全症候群	455			
ジアルジア症	29			
侵襲性インフルエンザ菌感染症	186	1		
侵襲性髄膜炎菌感染症	15			
侵襲性肺炎球菌感染症	1633	10		
水痘(入院例に限る。)	154	4		
先天性風しん症候群				
梅毒	2307	3		
播種性クリプトкокクス症	67			
破傷風	33			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	17			
百日咳	1556	14	1	
風しん	22			
麻しん	162			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	8			



狂犬病のリスクがない国および地域
 狂犬病のリスクが低度の国および地域:コウモリとの接触や恐れがある場合、予防接種を推奨
 狂犬病のリスクが中等度の国および地域:コウモリや野生動物の接触の恐れがある場合、予防接種を推奨
 狂犬病のリスクが高度の国および地域:犬など狂犬病ウイルスを媒介する動物との接触の恐れがある場合、予防接種を推奨

2013 WHO International travel and health をもとに作成

図 世界各国における狂犬病のリスク(厚生労働省検疫所(FORTH)ホームページ引用)



2017年/2018年シーズン (2017年第36週 : 9月4日～) インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

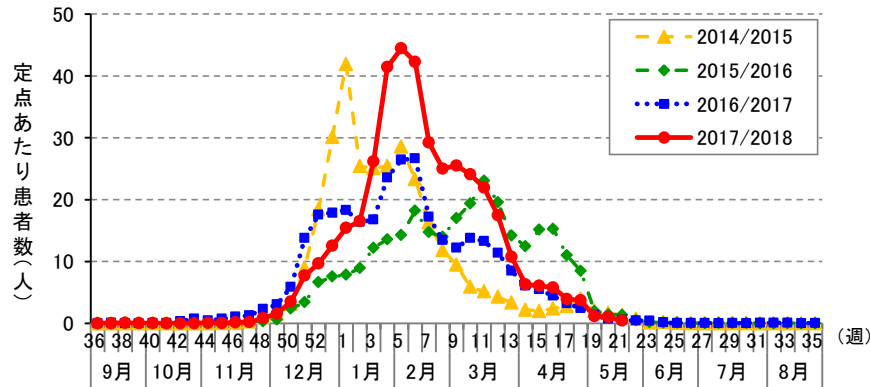


図:秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生の報告はありませんでした。

○今シーズンの報告状況

累計施設数 170: 社会福祉施設 44、保育所 119、病院 7

<参考>

○昨シーズンの報告数

累計施設数122: 社会福祉施設63、保育所・幼稚園46、病院13

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2017/2018シーズン

秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)	
秋田県	
5/21～5/27 (21週)	累計
1	400

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8カ所、全国約500カ所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

※厚生労働省のインフルエンザ情報に関する定期的な公表は、第19週分をもって終了しました。

インフルエンザ様疾患集団発生(集団かぜ)の状況

インフルエンザ様疾患集団発生(集団かぜ)の報告はありませんでした。

○今シーズンの措置状況

累計施設数 472: 休校・休園 20、学年閉鎖 247、学級閉鎖 205

<参考>

○昨シーズンの措置数

累計施設数 300: 休校・休園 18、学年閉鎖 147、学級閉鎖 135

※同一施設で同一週(月曜日～日曜日)に休校、学年閉鎖、学級閉鎖をした場合は、休校>学年閉鎖>学級閉鎖の順位で1とカウントしています。



感染性胃腸炎情報

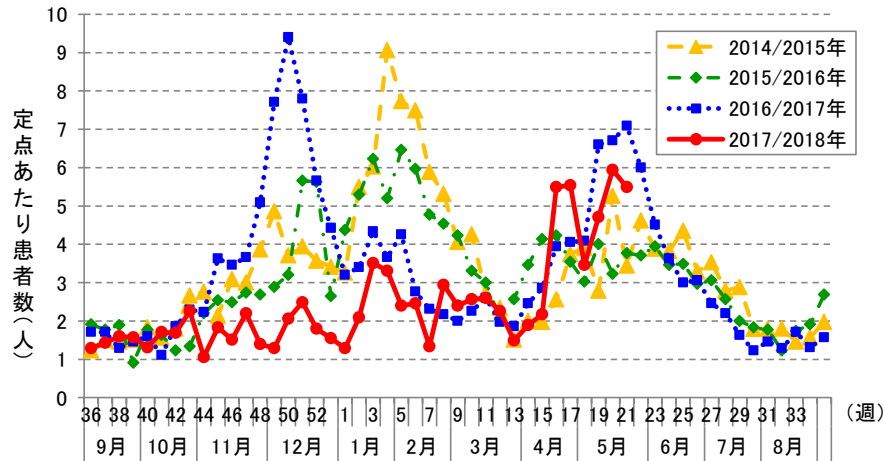


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

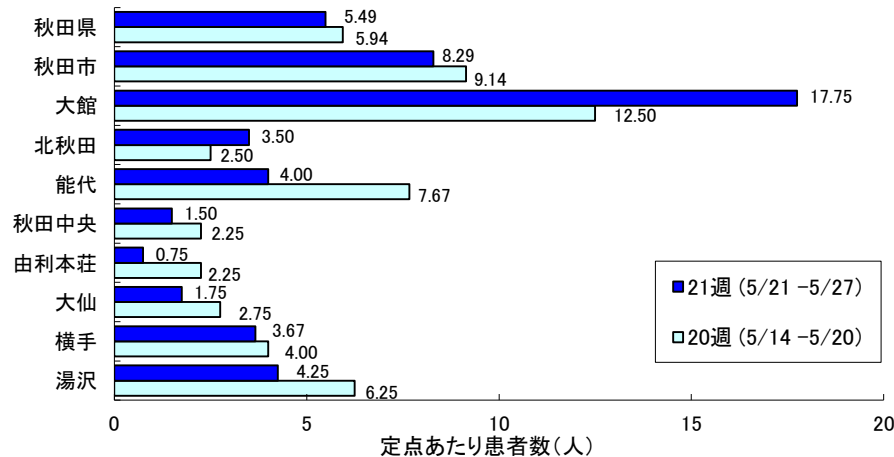


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告はありませんでした。

★感染性胃腸炎の集団発生状況

平成30年度 17施設 発症者 263名
<保育所・幼稚園17>

【参考】

平成29年度 42施設 発症者 637名

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

つつが虫病情報

5月21日から5月31日の間に、つつが虫病の発生届が2件ありました。

No.1		No.2	
届出年月日	平成30年5月25日	届出年月日	平成30年5月28日
患者の住所	秋田市保健所管内	患者の住所	湯沢保健所管内
患者の年齢	7歳	患者の年齢	50代
性別	男	性別	男
症状	発熱、リンパ節腫脹、発疹、刺し口(左前頭部)	症状	頭痛、発熱、リンパ節腫脹、発疹、刺し口(左肘内側)
診断年月日	平成30年5月25日	診断年月日	平成30年5月28日



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		